

子ども未来創造館



＜8月の休館日＞
★お休みはありません★

7月のことみらの様子



7/10に行われたfunfunくらぶ「水の大研究」は実験あり、工作あり、盛りだくさんの内容で体験学習できました!夏休みの自由研究にもなりそう☆彡



7/16に行われた「合同水遊び」は絶好の水遊び日和となり、約60人の親子で楽しみました。5箇所の水遊びエリアと大人気の噴水、お母さんが張り切るシャボン玉など、最初は水を怖がる仕草のお子さんも帰りたくないほど熱中できた様子♥

みんなで楽しもう

森の映画会 **カールじいさんの空飛ぶ船**

妻エリーに先立たれたカールじいさん。いつか一緒にいこうと約束した「伝説の滝」パラダイス・フォールを目指し冒険に出ることを決意する。家に2万個の風船を結びつけいざ出発!その先に待ち受けるものは…ご家族でお楽しみください。

日 8/14(土) 時 午後2時
定 員 参加費 持ち物 申込み なし

夢中になろう! **つみオパーク**

4000個のつみ木!もう体験して頂けましたか?ご家族で想像力・集中力を高めて下さい。

日 8/15(日) 午前10時30分
定 員 参加費 持ち物 申込み なし



小学生対象



子ども教室

funfunくらぶ

夏休み後期のfunfunくらぶは宿題、学習がスイスイ進む嬉しい企画で皆さんをお迎えます!友達、兄弟と一緒に☆一人でじっくり☆スキルアップしませんか?

＜funfun特別企画「宿題大作戦」＞

日 8/8(日) 午後2時
定 員 参加費 申込み なし
持ち物 夏休みの宿題、プリントなど

＜第2回 脳トレ検定＞

日 8/22(日) 午後2時
定 員 参加費 申込み なし
持ち物 筆記用具

げんきもり森のプレイターと遊ぼう!

げんきもり森に遊びの達人☆プレイター出現!!一緒に思い切り外遊びを楽しもう。

日 7/21～8/25までの40日間
午前10時～12時 午後1時～4時
定 員・申込み等は特によりません。

乳幼児と保護者対象

癒されます☆ **アロマジェリ**

アロマのやさしい香りに包まれて、お子さんと一緒に癒しのひと時を過ごしてみませんか…ジェルクリーム作りを一緒に体験します♥

日 8/29(日) 午前10時30分
対 象 2才～未就学までの親子12組
参加費 1組800円 申込み 8/9 午後12時 持ち物 なし

Tomiraso **ワイワイパニック**

小学生も幼児さんも大集合!! 夏休み期間に初めて行うワイワイパニックは、脳を鍛え、体を鍛え、頑張った分だけkodoがもらえるミニ運動会です。友達を誘って参加して下さいね。

日 8/18(水) 午後2時～3時30分 対 象 小学生・幼児親子
定 員 参加費 持ち物 申込み なし

こどもらベビー&ベビー&キッズ

可愛いお子さんと一緒にリフレッシュ☆もって可愛い笑顔を見つけてみませんか?

こどもらママベビー→おひざでえほん・簡単ベビーマッサージ

対 象 0歳の子と保護者 日 8/26(木)
持ち物 バスタオル

こどもらベビー→親子リズム遊び・親子体操・手遊び
対 象 1歳の子と保護者 日 8/13(金)・27(金)

こどもらキッズ→親子体操・運動遊び・リズム遊び
対 象 2・3歳の子と保護者 日 8/5(木)・19(木)

◇3教室共に特に申し込みは必要ありません。全て午前10時30分から行いますのでお気軽にどうぞ。

★8/5～9/4のカレンダー★

日	月	火	水	木	金	土
つどいの広場では、㊟子育て相談・㊟栄養相談を行っています。日常のふとした疑問を解消する為にお役立て下さい。今月は㊟水遊び(午前)もあります。晴れるといいですね…						
㊟ funfunくらぶ	㊟ つどいの広場		㊟ つどいの広場	㊟	㊟ つどいの広場	㊟
㊟ つみオパーク	㊟ つどいの広場		㊟ ワイワイパニック つどいの広場	㊟ こどもらキッズ	㊟ ワイワイくらぶ つどいの広場	㊟ マジックショー
㊟ funfunくらぶ こどもら新聞	㊟ ふれあい教室A	㊟	㊟ ふれあい教室B つどいの広場	㊟ こどもら ママベビー リミック	㊟ こどもらベビー つどいの広場	㊟
㊟ こどもら	㊟ ふれあい教室B つどいの広場	㊟	㊟ 9/1	㊟ こどもらキッズ	㊟ ワイワイくらぶ つどいの広場	㊟

申し込みが必要な教室もあります。内容・詳細は子ども未来創造館までお問い合わせください。また、各種教室のお申し込みは**申し込み当日の12時から**電話(72-6053)と生涯学習課窓口・子ども未来創造館窓口でも受け付けますので、お気軽にお尋ねください。

※教室申込みの際、友人の分の申込み等は出来ませんので、ご了承下さい。



開館時間

月～金曜日 午前9時～午後6時
土・日曜日 午前9時～午後5時

★未就学児は必ず保護者と一緒に活動してください。

★行き帰りの交通には充分注意し、お迎えの有無等ご家庭で確認してください。

㊟ 公衆電話はありませんが、1回10円で事務所の電話を使用することが出来ます。お気軽に声をかけて下さいね。

問い合わせ先 ☎72-6053
富士河口湖町船津1754

生涯学習館

「じゃあ、読もう。」—2010年は国民読書年です。—

30日(月)～9月6日(月)は
蔵書点検のため休館です。

開館時間 平日10:00～19:00
土・日 9:00～17:00

P ←このマークがついているイベントはとしょかんパスポート対象事業です。パスポートを持って参加してね!

～蔵書点検のお知らせ～

8月30日(月)～9月6日(月)

上記期間中は河口・大石・上九一色分館も閉館いたします。9月7日(火)より全館開館いたします。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

おうちにある布、 譲ってください!

図書館協議会では、10月に開催予定の「町の誕生日イベント」にて今年度は「シュシュ」を制作・販売することになりました。そこでその材料となる布を集めております。家に眠っている布・はぎれがありましたらぜひ生涯学習館までお持ちください。

皆様のご協力、おまちしております!

P げんキッズクラブ

1,2年生のみなさん、本のおもしろ～い世界にどうぞいらっしゃい!いろいろな本を読んだり遠足に行ったりもするよ!



日程: 8月4日(水)、8月17日(火)
11月7日(日)、1月6日(木)
3月(未定) 午前10時～
場所:生涯学習館
対象:小学校1,2年生
申込:8月2日より開始

第14回 小夏の夏の朗読会

暑い夏の、ほっとするひと時を朗読会で過ごしませんか? 新たな本との出会いがあるかも…



日時:8月22日(日) 午後2時～
場所:生涯学習館 学習室1
内容:「合歓木の陰」(山本周五郎)
読み手/高橋すみ子
「改札口」(連城三紀彦)
読み手:流石真弓

ヤングアダルト読書会

1人で読むのもいいけどみんなでイロイロ言ってみるのもおもしろい!中高生のための読書会です。まずは気軽に来てみてね。

日時:8月10日(火) 午後2時～ 場所:生涯学習館
課題:「ぼくは落ち着きがない」長嶋有/著

受験生必見!! 小論文対策講座

この冬受験を控えた高校生を対象に、小論文の講座を開催します。この講座で合格をつかみ取ろう!

日時:8月6日(金)、8月9日(月) 午後1時30分
場所:生涯学習館 学習室1
持ち物:筆記用具

1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第45回読書会



日時:8月28日(土) 午後2時～
場所:生涯学習館学習室1
課題:「火花」高山文彦

P おやこで工作あそび

日時:8月20日(火)
午前10時30分～
場所:生涯学習館 学習室1

P わらべうたでスキンシップ

日程が変更になりました!!
8月17日(火)⇒8月19日(木)
場所:中央公民館 和室

♪新着書案内♪

◎おもしろオロジー/増淵雄一 ◎おサケについてのまじめな話/西原理恵子
◎ビターシュガー/大島真寿美 ◎悪と仮面のルール/中村文則 ◎バイバイ、ブラックバード/伊坂幸太郎 ◎ひとり遊びのスズメ/茂木健一郎 ◎ズルい言葉/酒井順子 ◎プラチナデータ/東野圭吾 ◎俺俺/星野智幸 ほか

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象 (午前10時30分～)

P ブラウンベア(えいご) 8月10日(火)

P うさぎのおやこ 8月24日(火)

●幼児～小学生低学年対象 (午後1時30分～)

P パパのえほんタイム 8月14日(土)

P イトワールの会 8月28日(土)

8月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会 午後4時30分～
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	P 17日
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	P 18日



問い合わせ/生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

富士河口湖町女性交流センター みずうみ通信



満蒙開拓青少年義勇軍に

志願して(後編)

船津 梶原勘一(83歳)



昭和21年8月30日、同居の義祖母が延吉へ買物に出かけ、日本人の帰国が始まっている情報を得た。義祖母は、お前は日本へ帰りたいのか、故郷

〈エッセイ募集〉 ～戦中・戦後の記憶をたどって～

は何処かと尋ねた。私は即座に「日本へ帰国したい。故郷は富士山の麓だ」と答えた。すると、「戦争中のアメリカ機は、富士山を目標に飛行し、爆撃したので麓は焼野原となり誰も住んでいない。そんな所へ帰国せず満州の地で結婚して、一緒に暮らそう。」と熱心に言った。私は、「とにかく故郷へ帰りたい。父母に元気に生きている姿を見せて安心させて再度この地へ来て恩返しをする。」そう強くお願いして了承して貰った。

昭和21年9月2日、義祖母が用意して呉れた食糧と僅かな金銭を持つて金城屯を出発。9月8日、吉林収容所へ到着、ここで竹川昭男君と出会い服を貰い、汚れてボロボロの満服を着替えた。同月12日、吉林収容所を出発し各収容所を延々と回った末、10月14日、コト島を出航、米軍の上陸用船艇の船倉に乗り、食事はカンパンと、海藻の塩汁のみでのいだ。10月18日、待望の博多港へ入

港、検疫を受ける。10月22日、博多へ上陸、復員の手続きを受ける。そこで今迄の給料として三百円を支給される。博多駅からは引揚者専用列車に乗り、名古屋駅で中央線に乗換え、昭和21年10月23日、故郷船津へ到着した。

予告もせず、わが家へ「勘一、只今満州から無事帰りました。」と叫ぶと、家族の驚きと喜びは筆舌に尽し難く只々感激の涙々であった。当時は戦死の公報が入っていたのだ。

在満五年、夏は灼熱燃える中未墾の荒野での開墾、農作物栽培作業、冬は吐く息も凍る厳冬の地で軍事教練、ランブ暮しの義勇隊生活。

昭和20年8月15日、日本の敗戦により一夜にして暗黒の底へ、以後逃亡中の飢えと恐怖の戦い。生死の間を彷徨いしつ奇跡的に助かった命。一生忘れられない当時の体験を記憶と逃亡中のメモをもとにまとめました。

戦中・戦後 もろもろの想い

浅川 外川清子(80歳)



昭和20年8月15日の終戦の日
は私の人生にとっ
て、生涯忘れるこ
とは出来ません。

昭和20年の始
め、当時女学生
だった私は武蔵
航空へ学徒動員

として行きました。丸尾の中に建てられた工場
飛行機の尾翼を組み立てる工場でした。私達は尾
翼の桁と言う所を作っていて、ジュラルミンの板に

電気ドリルでリベットを打つ作業でしたが、これが
難しい作業で思うように打てず最所はオシヤカの
連続でした。オシヤカと言う言葉は、その時初めて
覚えました。足をふん張り直角にドリルを当てると、
ダダダッと激しく震動します。その時の手の震
えの感覚は今も忘れません。このように当時の私た
ちは学生とはいえ必死で働きました。

やがて戦争は激しくなり連日B29や艦載機の
襲来のサイレンが鳴り、同時に私たち学生は一番
に避難しました。

今は、中央道になっている赤坂の山の根のほら穴
へひと品だけ工具を持つて待避し、解除になれば
急ぎ職場に戻り働きました。これを一日に何度も
繰り返し戦争の恐ろしさを痛感しました。作業着
は胸あてのあるズボン姿で、物不足の時代のこと、
私は父のセルの着物をほどこいて作って貰いました。

すべて「欲しがりません勝までは」の信念で頑張
り続けました。それだけに終戦の空しさはたとえ
ようもなく、号泣しました。

その後は復学しましたが、教科書はワラバン紙
で新聞を折り曲げたような、本とは名ばかりの粗
末な物。でも制服はヘチマ衿の上着にフリースのス
カートの配給され女学生らしくなりました。

厳冬の通学には、父の二重まわしで仕立てて貰
ったコートで寒さから身を守ることが出来ました。
コートは今も大切にしています。浅川から富士吉
田駅まで5kmのジャリ道を下駄履きで歩き、富士
山麓電鉄で谷村駅まで片道二時間をかけて通学
しました。食糧も乏しく人は皆飢えに苦しんで居
ました。

戦中戦後の苦難な時代を過ごし、現在の飽食
の世に生きつつも、「勿体ない」「捨てられない」の気
持が強く、物の大切さを痛切に感じる私です。

日々生命あるものを戴き生かされて居ることに感
謝し平和の世をおだやかに歩んで行きたいと思っ
ております。

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



富士山生物多様性研究イニシアティブ・プロジェクト(その3)

6月の「絶滅危惧チョウ類」プロジェクトは11～13日に行われ、梅雨の真最中で一時的に富士山が顔を出しただけでした(写真)が、河口の里山で羽化したばかりの絶滅危惧種アサマシジミが観察できたり、本栖高原・野尻草原・梨ヶ原の富士山北麓三大草原で、ミヤマシジミやギンイチモンジセセリ・ヤマキチョウなどの絶滅危惧草原性のチョウが観察でき、草原の違いによってこれらの種の個体数も異なることがわかってきました。さらには、数種の絶滅危惧植物にとっても、これら三大草原が貴重な生育地であることも確認できました。

「湧水と里山環境」プロジェクトは18～20日に行われ、川の中の絶滅危惧種バイカモ10株を対象に、大きさや水深などを測定し、水中カメラで撮影することによって、成長の様子と共存している貝や虫を確認しました。草地を代表するカヤネズミは、都留の里山ではたくさんの巣が発見できましたが、梨ヶ原では1個しか見つからず、場所に適応して生活の仕方を変えているのではないかと予想されました。



26～28日に行われた「草原と林の鳥」プロジェクトでは、梨ヶ原で絶滅危惧のオオジシギが、上空で円を描いて飛んだり、ポールの上にとまって派手に鳴いたりと活発な行動を見ることが出来、広い草原の大切さを実感すると同時に、河口湖フィールドセンター周辺でキビタキの囀りを多く聞くことができ、自然林の大切さも確認できました。



自然観察教室 本栖高原と小田貫湿原

町の生涯学習課と南都留理科サークルが共催して年10回開かれている自然観察教室の3回目が、富士山麓の代表的な草原



「本栖高原」と、富士山麓では珍しい湿原「小田貫湿原」で行われました。本栖高原では、捕虫網を使って手にとって見ることを目的に活動し、ヒョウモンチョウやヒメシジミといった絶滅危惧草原性のチョウを始め、たくさんのバッタやエゾハルゼミなどを捕まえては放すことを繰り返しました(写真)。セミに初めて触れたという人も3人いて、普段は虫たちと触れ合う機会が少ないのだと感じました。小田貫湿原では虫などを捕まえることが禁止されているため、双眼鏡をつかってトンボやチョウ、湿性植物などを観察しました。小さな池が散在する湿原で、ショウジョウトンボ・ハラビロトンボやカラスアゲハなどが観察出来、最後の頃には雨が降り出しましたが、梅雨の時期でも何とか予定をこなすことが出来ました。

河口湖美術館ビオトープで、今年もゲンジボタルが自然発生

河口湖畔のビオトープ(大石・河口・大池・八木崎)と河口の寺川では、2008年のホタル幼虫放流を最後に自然発生を見守っていましたが、昨年は、大池と寺川でゲンジボタルが確認されましたが、今年は河口湖美術館ビオトープで6月16日から24日まで、合計38頭平均5頭のゲンジボタルの飛翔が確認されました。幼虫は2冬越すこともあるといわれていますが、3年目にこれだけ安定して自然発生したことは、河口湖美術館ビオトープの環境が昔の里山環境に近づいている証拠ともいえ、来年以降も自然発生することを願っています。

ショート・ニュース

- 第3回富士山写真展「富士山の里山～里山の自然がもたらす生物多様性～」を、8月1日～9月30日まで河口湖フィールドセンター研修室で開催する予定です。富士山北麓の三大草原である梨ヶ原・野尻草原・本栖高原に、船津・河口の里山、十日市場富士山湧水群地帯の代表的な動植物の様子を展示し、里山的自然の大切さとその保全を訴えます。入場無料ですので多数の方々のご来場を期待いたします。
- 「富士山生物多様性研究イニシアティブ」の第4節が、8月6～8日に湧水の生物とカヤネズミを対象に、20～22日に絶滅危惧チョウ類を対象に、28～30日に絶滅危惧鳥類を対象に行われる予定です。